

## 主な御意見（要旨）と本市の考え方

<応募者数：49名 意見数：129件>

## 1 施設運営のあり方、維持管理について【15件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
事故等につながらないように、道路や水道管等の公共土木施設の老朽化対策や維持管理を着実に進めて欲しい。	7	市民生活を支える重要なライフラインでもある公共土木施設や水道施設の維持管理については、本計画に掲げる取組を着実に推進することで、計画的な維持管理、更新等を推進してまいります。
横断歩道橋などの老朽化して利用されなくなった施設の撤去や電柱の地中化など、状況に応じた施設整備を進めて欲しい。特に、道路白線の引き直しなど、通学路の安全対策を積極的に進めていくべきだ。	4	御意見を踏まえ、「第4章 公共施設マネジメントの進め方－1 公土木施設編－指針2 防災機能の強化と最適な維持管理の推進」の取組方策「② 安全確保と防災機能の強化」に、「 <u>道路の修繕・更新に当たっては、生活道路を含む通学路の安全対策など、歩行者の安全確保に向けた取組を進めます。</u> 」を追記します。
市民利用施設については、市民に広く広報し、利用時間を改善するなど、なるべく多くの市民が利用できるような運用がなされるべきだ。また、現状で利用者数が少ない施設について、市民ニーズの掘り起こしに失敗していることも考えられるため、なぜ少ないのかという点に関する詳細な検討がなされるべきだ。	2	施設の見直しに当たっては、より多くの市民の皆様にご利用していただける公共施設となるよう、本計画に掲げる「施設運営評価の実施」等を通じて、施設運営の最適化も図ってまいります。 御意見の趣旨を踏まえ、「第4章 公共施設マネジメントの進め方－1 公共建築物編－指針2 施設の質の向上に着目した施設運営の見直し」に、「 <u>施設運営の最適化を図る</u> 」と追記します。
公共施設は率先して、節電、節水、省資源、3Rに努めるべきだ。	2	本計画においては、「取組の柱」の一つとして「環境に配慮したマネジメント」を掲げており、低炭素・循環型まちづくりを率先して進めるため、公共施設の長寿命化や施設価値の向上にあわせて、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー及び木材利用の推進など、環境配慮と低炭素化を実現する様々な技術を積極的かつ最大限採り入れるとともに、採用した技術が最大限効果を発揮するよう運営するなど、施設運営におけるエネルギー使用を合理化することで、環境負荷の低減を図り、維持管理・運営コストを削減することとしております。

## 2 防災・減災対策との連携について【11件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
防災や災害救助などにかかわる避難所や関連施設の強化が特に必要である。公共施設を災害時に避難所として使うという発想から、避難所を的確に確保・配置することを公共施設整備の第一義的な目的とし、平時には文化やコミュニティ形成の場として利用するという逆転の発想が必要だ。	4	御意見を踏まえ、「第4章 公共施設マネジメントの進め方－1 公共建築物編－指針2 施設の質の向上に着目した施設運営の見直し」に「 <u>防災機能を確保する観点も踏まえながら</u> 」と追記します。
防災・減災対策との連携を図り、大規模地震や水災害等に対する備えの充実等を図ることで被害の軽減させるなど、災害に強い安心・安全なまちづくりを進め、人々が安心して住めるようなまちづくりをしてほしい。	3	本市では、自然災害から市民のいのちとくらしを守るため、公共建築物の耐震化については、「京都市建築物耐震改修促進計画」（平成19年7月策定）に基づき、着実に推進しており、公共土木施設においては、重点的かつスピード感を持って橋りょうの耐震化等を推進しております。 また、避難所運営マニュアルの策定、災害用備蓄物資のソフト面の充実等にも取り組むことで、ハード、ソフトの両面から防災・減災対策を推進しています。
公共建築物の耐震化を進めるべきだ。	3	本計画の推進に当たっても、防災・減災対策との連携をしっかりと図ってまいります。
大規模災害時は交通の確保が大切だ。緊急時に備えて道路などの土木施設の最適な維持管理を急いでほしい。	1	本計画においては、「他の重要施策等との連携・融合」として、「防災・減災対策との連携」を掲げるとともに、公共土木施設分野の推進指針の一つとして、「 <u>防災機能の強化と最適な維持管理の推進</u> 」を掲げており、災害リスクを想定しながら、緊急輸送道路の確保に必要となる各施設の修繕・更新等を最優先で行うなど、通行機能を効率的・効果的に確保する取組を推進することとしております。 今後も、本計画に掲げる取組を着実に推進してまいります。

### 3 施設保有量の最適化・適正配置について 【11件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
人口動向に対応する公共施設等の利用需要を踏まえた施設の適正規模と維持管理に関する記載がない。	3	<p>本計画においては、公共建築物分野の推進指針の一つとして「施設の質の向上に着目した施設運営の見直し」を掲げており、その取組方策として「施設機能別サービス提供状況の検証」を掲げ、一定エリアにおける施設サービスの提供状況等を把握・分析することで、必要な機能の充足状況等を総合的・多角的に分析することとしております。</p> <p>本市では、これまでから、府市協調による京都動物愛護センターの共同設置運営等を推進しておりますが、今後は、これらの先駆的な事例の成果等を踏まえながら、多様な主体との連携を強化してまいります。</p> <p>また、御意見を踏まえ、避難所等の防災機能の状況等を踏まえながら、施設保有量の最適化や適正な配置について検討を進めるため、取組方策「施設機能別サービス提供状況の検証」に掲げる施設機能の例示に「避難所機能」を追記します。</p>
京都市は地域ごとにまちづくり活動が盛んに行われているため、活動単位としての「地域ごと」に施設があることが望ましい。市内中心部と周辺部の施設の偏在を見直してもらいたい。	3	
必ずしも市が行う必要のない業務・事業等に関しては、民間施設を賃借することも検討すべきだ。負債を増やさないということは、施設を持たないという考えに基づき、民間施設を利用して利用料の補助を行うなど、ハードのサービスにこだわらずソフト的に対応する方が民間の活用や雇用の増加につながると考える。	2	
市管轄以外の施設も視野に入れ、府市共通の施設統合や近隣自治体などと連携して、施設の共有や利用を進めて欲しい。	2	
ハザードマップなどを活用して、防災上、安全な場所に拠点となり得る学校を整備していくという長期的な視点での施設整備が重要だと思う。	1	

### 4 市民との協働や連携について 【9件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
施設の見直しについては、利用者の理解を得ることが大切になってくる。施設情報と見直しの理由とを利用者に広くわかりやすく知らせる工夫を図るなど、中長期的な目線で住民との対話を丁寧に行ってもらいたい。市の施設に対する市民の思いを深め、市民と協働するための方策が必要だ。	4	<p>本計画においては、「市民力・地域力など京都の強みを生かしたマネジメントの推進」を掲げており、市民と行政とが共通の課題認識に立ったうえで、知恵と工夫を出し合いながら、市民ぐるみのマネジメントを推進することとしております。</p> <p>今後は、本計画に基づき、市民の皆様の御意見をお聞きしながら、施設の維持管理のあり方等につきましても検討を進めてまいります。</p>
公共施設の維持に京都らしい地域力を活かし、さらに地域力を引き出すきっかけにしてほしい。生活路や地域生活に密着した施設を、地域住民が管理や保全に主体的に関わる必要がある。日頃の使い方が改善されるだけでなく、利用者（＝住民）に主体者意識を醸成する機会となる。	3	
携帯電話やスマートフォンの活用を図りながら、公共施設の維持修繕について、より多くの市民に担ってもらい仕組みづくりを検討してはどうか。	2	

## 5 施設の長寿命化・資産の有効活用について 【7件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
市民ニーズがないのであれば用途廃止し、土地を売却するなど再活用など考えるべきだ。	3	本市では、「京都市資産有効活用基本方針」（平成24年6月策定）に基づき、未活用資産の売却・貸付けや、ルームシェアター京都（京都会馆）、わかさスタジアム京都（西京極総合運動公園野球場）など、公共施設におけるネーミングライツの導入等を推進しております。 本計画においては、「市民・事業者等との連携による保有資産の有効活用の推進」を掲げており、今後も着実に取組を推進してまいります。
市の行政区分ごとに各種施設が建てられており、一つの地域内に各種の施設が複数ある例が多いが、少子高齢化に対応するため、施設の多機能化、利用者層の多様化を進めるべきと考える。「数を減らして、今あるものを充実していく」方が時代に合っている。	2	本計画においては、「分野横断的・中長期的な観点に立った再編・再整備の推進」を掲げており、その実施に当たっては、既存施設の複合化や多機能化を含めた多様な手法を検討することとしております。 御意見等を踏まえ、本計画を着実に推進してまいります。
壊して造るのではなく、あるものを大切に使うという考え方は非常に良いと思う。既存資産を活用して長く安全に使う方法をしっかりと考え、継続的に取り組んでほしい。	2	本計画においては、分野横断的な観点から修繕・改修及び更新の優先度を検討するなど、効率的・効果的で計画的な保全を行い、長期保有する施設については、適切な維持管理による機能維持・向上を推進することとしております。 今後も、本計画に基づき、着実に取組を推進してまいります。

## 6 財政的な見通し、財源の確保について 【6件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
公共施設等の維持管理に係る経費の見込みや充当可能な財源の確保に関する記載がなく、財政的な裏付けの検討が十分されていないのではないか。	4	公共施設の更新等に要する将来コスト負担につきましては、「京都市公共施設マネジメント基本方針」（平成26年3月策定）において試算し、その結果を公表しております。 本計画の検討に当たっては、当該試算結果等を踏まえながら検討を進めておりますが、今後の施設類型別の実施計画づくり際には、財政的な裏付けや財源の確保等も含めて検討してまいります。
建設費だけでなく、維持管理の費用も含めて、施設のトータルコストを明らかにし、考えていくという視点は大切だと思う。限られた財源を配分することは難しいと思うが、状況の変化に柔軟に対応できるようにしておくことが必要だ。	2	本計画においては、公共施設マネジメントを進めるうえでの「基本的な考え方」として、「持続可能な公共施設マネジメントの確立」を掲げており、限られた財源を最大限に有効活用することとしております。 本計画の推進に当たっては、随時、取組状況の点検・見直しを図りながら、柔軟性のある計画の運用を図ってまいります。

## 7 多様な主体（国、府、他都市、民間事業者等）との連携について 【4件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
公共建築物のマネジメントに当たっては、民間活力を最大限生かして、ライフサイクルコストの低減に努めてもらいたい。京都市内には大学が多いので、市営住宅の利活用の際に大学との連携などの好例に学びながら、大学と連携を進めることが望ましい。	2	本計画においては、「市民・事業者等との連携による保有資産の有効活用の推進」を図ることとしております。 本市では、御指摘の大学との連携をはじめ、今後も、本市の先進的な取組事例の成果等を踏まえながら、国や京都府をはじめとする他の自治体、民間事業者等の多様な主体との連携を強化しながら、公共施設マネジメントの取組を加速化させてまいります。
今後の公共施設のあり方を検討していくうえでは、市民の意見を聞く場を設けることはもとより、第三者の客観的な意見や外部の評価プロセスを入れてもらいたい。	2	御意見を踏まえ、「第4章 公共施設マネジメントの進め方－3 共通事項－指針2 市民力・地域力など京都の強みを生かしたマネジメントの推進」に「有識者等の意見を聴取する機会の確保」を追記します。

## 8 魅力ある公共施設の構築について 【3件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
京都が世界中から観光客が訪れる地域であることを踏まえ、公共施設の整備においても徹底的に京都らしさを追求すべきだ。古都をイメージさせるデザインなど、リピーターを呼び込むような魅力ある公共施設を構築して欲しい。	3	<p>本計画においては、新たに整備する施設について、ライフサイクルコストの縮減はもとより、京都の知恵と工夫による京都力を生かした、京都の都市格の向上に寄与する景観や環境に配慮した上質で付加価値の高い施設を整備することとしております。</p> <p>本市では、これまでからロームシアター京都（京都会館）や美術館の再整備等に際しては、世界の文化首都として、都市格の更なる向上に寄与することを念頭に施設整備を推進しておりますが、今後も本計画の考え方等を踏まえながら、取組を推進してまいります。</p>

## 9 推進体制等について 【3件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
数値目標の設定がなく、どのようにフォローアップが実施されるのか不明だ。	1	<p>本計画においては、公共建築物について「現在の施設保有量を最大値とする」という大きな考え方を掲げ、施設サービスの質の向上に着目した徹底した施設運営の見直し等を展開することにより、民間事業者も含めた多様な主体との連携による効率的・効果的な施設サービスの向上を実現する手法を追求することで、財政負担の軽減を図り、後々の世代の負担を増やさないことを目標としながら、取組を進めていくこととしております。</p> <p>取組のフォローアップにつきましては、取組の実施状況や成果等をまとめた「公共施設マネジメント推進レポート（仮称）」の作成・公表等を通じて、実施してまいります。</p>
公共施設マネジメント統括部署の強化と一元的な管理・執行等により、業務の効率化を果たしてもらいたい。	1	<p>本計画においては、「第6章 推進体制等」において、公共施設マネジメント統括部署の強化や職員の意識の醸成等を図ることとしております。</p> <p>御意見を踏まえ、本計画を着実に推進してまいります。</p>
住民との関係性の構築について、職員のノウハウ向上を図ってもらいたい。	1	

## 10 個別施設に対する御意見・御要望等 【60件】

御意見の要旨	件数	本市の考え方
既存施設や未利用資産の利活用に関する御意見 (伏見桃山城、東部クリーンセンターなど)	9	<p>いただいた御意見につきましては、今後の個別施設の整備及び維持管理を推進するうえでの参考とさせていただくとともに、施設所管課等へ情報提供させていただきます。</p>
既存施設の維持管理等に関する御意見・御要望 ○ 案内表示・看板の改善 (11件) ○ 道路施設の修繕・整備 (8件) ○ 公園施設の修繕・整備 (4件) ○ 施設の清掃 (2件) ○ その他 (8件)	33	
その他 (本市所管以外の公共施設等に対する御意見)	18	